

神経幹細胞の分化運命決定を担う

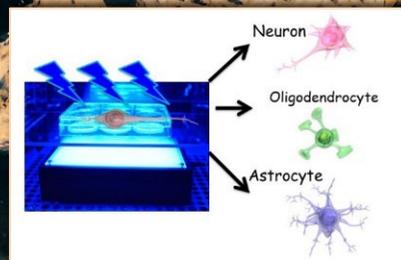
転写因子発現動態の光遺伝学的解析

今吉 格 博士

京都大学

生命科学研究所

医生物学研究所

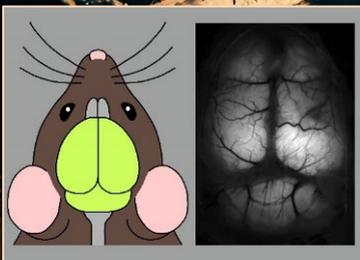


脳を丸ごと見る技術とその展望

道川 貴章 博士

京都大学

医生物学研究所

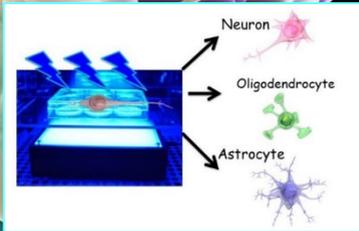


6月15日(木) 16:00-17:30

新教育研究棟2階講堂 対面開催

Brain Club 担当: 荒井 格・石川 理子 連絡先: 柚崎研究室 内線 62615

神経幹細胞の分化運命決定を担う 転写因子発現動態の光遺伝学的解析

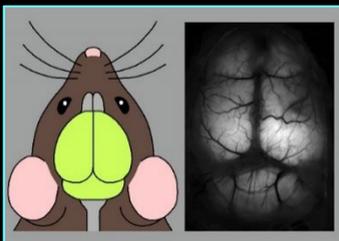


今吉 格 博士

京都大学 生命科学研究所
医生物学研究所

今吉博士は、遺伝子発現の光制御ツールを独自に開発し、神経幹細胞で転写因子の発現動態を人工的に再構成することで、転写因子発現動態の機能的意義の検証を行ってきました。本セミナーでは、bHLH型転写因子であるAscl1が神経幹細胞の休眠・活性化・細胞分裂・分化運命決定時に示すダイナミックな発現動態の変化が、どのように異なった下流遺伝子セットを活性化し、異なった細胞表現型の表出につながるのか、最新の知見を交えお話しいたします。

脳を丸ごと見る技術とその展望



道川 貴章 博士

京都大学 医生物学研究所

道川博士は、光源、顕微鏡筐体、レンズ、光検出方法において、従来の方法に捉われない新規方法の開発およびそれらを統合する制御ソフトウェアの構築により、マウスの大脳皮質と小脳皮質の背側全域を計測可能な超広視野蛍光顕微鏡システムを開発されてきました。本セミナーでは、道川博士が開発されてきた超広視野蛍光顕微鏡システムについて紹介していただき、脳機能の解明に向けた今後の展望について議論していただきます。

6月15日（木） 16:00-17:30
新教育研究棟 2階 講堂 オンサイト開催

Brain Club 担当: 荒井 格・石川 理子 連絡先: 柚崎研究室 内線 62615